



平成23年8月10日発行(毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

と も え

2011

8

No.342



末廣町を行進する花自動車隊

昭和十年七月三日
津軽要塞司令部検閲

CONTENTS

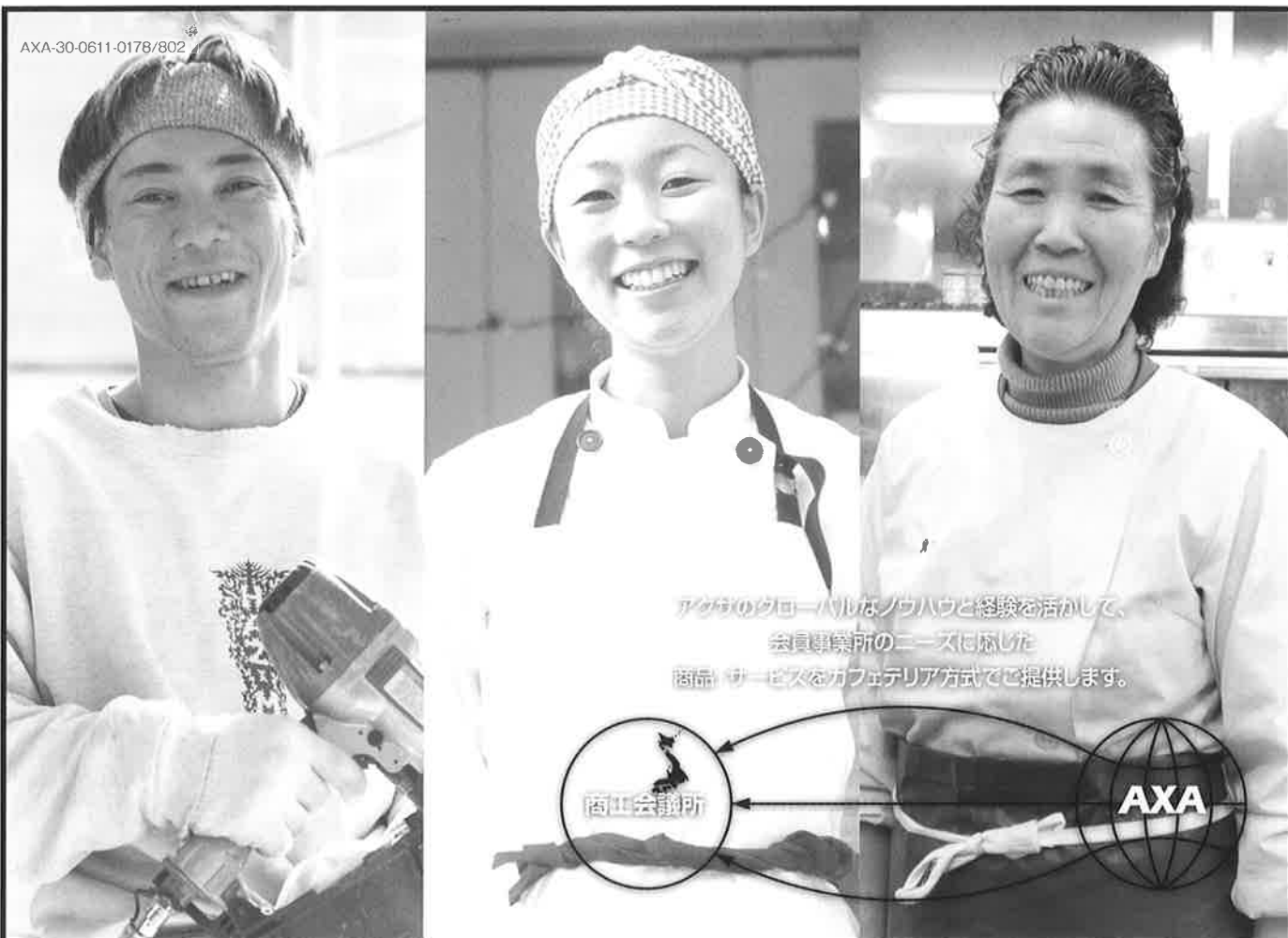
巻頭特集

函館市縄文文化交流センター
10月オープン!

- ◆ 会員企業ご紹介 P10
- ◆ ご案内 P14



函館商工会議所ホームページ
<http://www.hakodate.cci.or.jp/>



アグリのグローバルなノウハウと経験を活かして、
会員事業所のニーズに応じた
商品・サービスをカフェテリア方式でご提供します。

www.axa.co.jp/lfe/

NEW生命共済

平成23年4月1日スタート

生命共済は、アクサ生命と全国の商工会議所を結ぶ絆です。
長年親しまれてきた生命共済のリニューアルプランがいよいよ平成23年4月1日、スタートします。
アクサ生命は、NEW生命共済で、会員事業所の福利厚生をバックアップします。

 **アクサ生命保険株式会社**
redefining / standards

函館営業所
〒040-0011 函館市本町8-18 五稜郭本町ビル
TEL 0138-55-0034 FAX 0138-51-2166

■今月の表紙

「末廣町を行進する花自動車隊」

写真は、昭和10年に開催された第1回函館港まつりの賑わいを撮影した一葉です。

港まつりは、大火で落ち込んでいた函館を盛り上げようと、7月1日に制定した開港記念日にあわせ、盛大に開催されました。現在写真は、花電車の前で行われた開会式の様子です。

(函館市中央図書館所蔵)



CONTENTS

2 特集 函館市縄文文化交流センター

4 会議所の動き

- 開港152周年記念函館港まつり
- 高揚市との姉妹都市提携調印式
- 第64回函館地区珠算競技大会
- 弘前商工会議所との懇談会
- 海の日を祝う会
- 第40回観光土産品試買検査会
- 農水産部会と2委員会による合同勉強会
- 議員会
- 議員異動のお知らせ
- 青年部
- 女性会
- 今後の動き

8 中小企業相談所だより

- マル経融資
- 東日本大震災緊急小口運転資金
- 函館商工会議所災害緊急利子補給制度
- 金融制度の手引き無料配布中
- 個別専門相談

10 会員企業ご案内

- ル・レーブ

11 福利厚生支援サービス

12 経営者の悩み

13 新幹線情報

14 ご案内

- 合同企業説明会参加企業募集中
- 第6回函館歴史文化観光検定(はこだて検定)
- 第39回2級販売士検定試験
- 国有財産売却情報
- 新規学卒者の雇用についてのお願い

16 連載コラム

- 失敗から学ぶ企業再生
- 職員コラム

広告掲載企業

アクサ生命保険(株)函館営業所
(株)テーオー小笠原
JTB北海道(株)
(業)英知国際特許事務所
函館警察官友の会
(株)日本マネージメント・リサーチ
中小企業基盤整備機構
龍文堂印刷(株)
全国健康保険協会北海道支部
アマゾンジャパン(株)
(株)毎日コミュニケーションズ
黒豚バーベキュー祭り
函館国際水産・海洋都市推進機構
メールアドレス調査

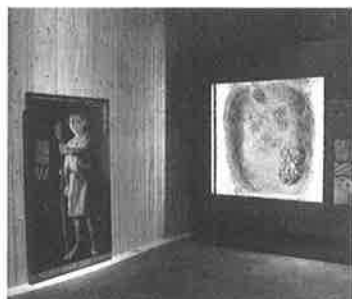
表紙裏
裏表紙裏
裏表紙
段下
段下
段下
段下
段下
折込
折込
折込
折込
折込
折込
折込

特集

函館市縄文文化交流センター 10月1日オープン!



北海道唯一の国宝を展示し、
博物館と道の駅が融合した、
縄文を体験できる施設が誕生。



▲国宝「中空土偶」



本号では10月1日にオープンする函館市縄文文化交流センターを特集します。

函館市縄文文化交流センターは、縄文遺跡の里として知られる南茅部地区において、北海道唯一の国宝指定を受けた「中空土偶」などを常設展示し、縄文の文化や生活、精神などを体験することができる博物館となっています。

施設内は中空土偶をはじめ、周辺の遺跡で発掘した土器や石器などが展示されます。また遺物の他にも、ミニチュア土器やアクセサリを作る事ができる体験学習室や、各種イベント、特産物のPRブースなどに利用できる多目的スペースも設けています。さらに、施設そのものが道の駅「縄文ロマン南かやべ」を兼ねており、国内初の国宝のある道の駅として、函館の新たな観光施設として大きな期待を集めています。

今年、国史跡に指定された垣ノ島遺跡

に隣接する同センターは、鉄筋コンクリート造りの2階建となっており、デザインコンセプトを「縄文のこころと交感する場所」として、時の流れをイメージした緩やかな自由曲線が目を引き、独創的なデザインの建物となっています。施設の西側には展示室や体験学習室などの交流センター機能を、東側には情報発信や物品販売など、道の駅としての機能が配置され、山と海に囲まれた豊かな自然の中で、縄文の文化に触れ、多くの人と交流できる場となっています。

また、同センターの開設は、後述します縄文遺跡群の世界遺産登録にむけた取り組みに、大きな弾みがつくものと期待されています。

開館日 平成 23年10月1日(土)

住所／函館市白尻町551番地1

開館時間／午前9時～午後5時(4月1日～10月31日)

午前9時～午後4時30分(11月1日～3月31日)

休館日／毎週月曜日、12月31日～1月5日、毎月最終金曜日

入館料

区分	個人	20名以上の団体
一般	300円	240円
学生・生徒・児童	150円	120円
小学校就学前	無料	



【お問合せ先】

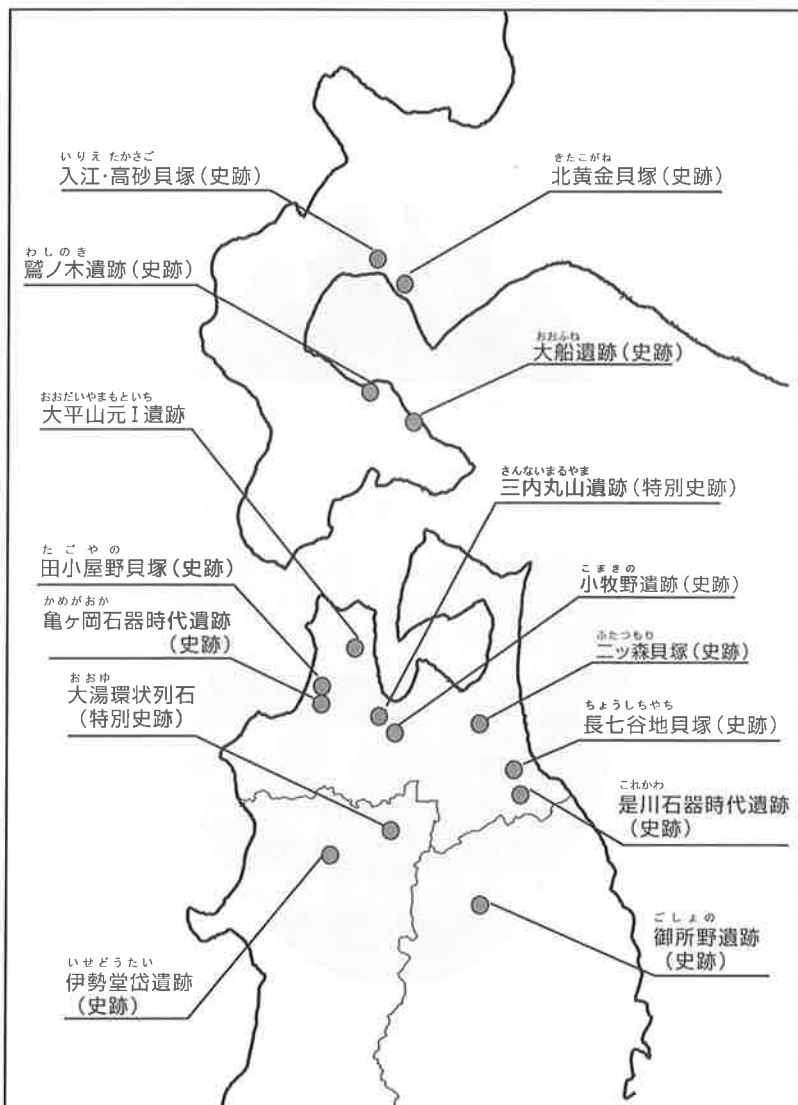
〒040-8666 函館市東雲町4番13号

函館市教育委員会生涯学習部文化財課

TEL/0138-21-3472 FAX/0138-27-7217

Eメール/bunkazai@city.hakodate.hokkaido.jp

北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界遺産登録にむけた取り組み



北海道・北東北は、日本列島の中で最も多くの縄文遺跡が存在し、現在に縄文文化を伝えるうえで歴史的価値の高い遺跡の宝庫となっています。また、これらの遺跡は特別史跡や史跡に指定されているため、自治体などで適切に保管され、出土品の中には国宝や重要文化財などに指定されているものが数多く存在しています。

このため、縄文の文化や伝統を顕著に示し、普遍的な価値の高い左記の15の縄文遺跡群が、世界遺産の登録にむけた取り組みを行っており、現在は文化庁より世界遺産候補に選ばれているところです。目標では、平成25年度に国からの推薦、平成27年度に世界遺産登録を目指しています。

○「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録の目標年度

25年度 (2013年)		26年度 (2014年)		27年度 (2015年)	
政府 推薦 決定	政府 推薦書 提出	国際記念物 遺跡会議 (ICOMOS) 現地調査	ユネスコ世界 遺産委員会 審査 ↓ 登録		

平成24年度を目標に、世界遺産登録推薦書(案)を作成する。表は、縄文遺跡群世界遺産登録推薦会議における協議・了承事項(21年9月開催。)

会議所の うごき

開港152周年記念函館港まつり

函館港まつり実行委員会主催による開港152周年記念函館港まつりを去る8月1日～5日の日程で、開催しました。

今年の港まつりは、天候にも恵まれ、1日には花火が夏の夜空に耀き、約7万人の観客を魅了した道新花火大会、2日と3日の両日には大門・五稜郭コースにおいて、函館港おどりや函館いか踊りをはじめとする「ワッショイはこだて」が行われ、各団体をはじめ姉妹都市提携を結んだ高陽市からの公演団や、青森ねぶたなど、延べ2万人が踊りを披露し、参加者の熱気溢れる踊りと、沿道に詰め掛けた観客の大きな歓声が重なり、会場全体がおおいに盛り上がりました。

また、5日には歩行者天国、けっぱれ!YOSAKOI

函館フェスタ、ワッショイはこだてコンテスト表彰式などが行われ、東日本大震災の復興を願い、そして函館市民が一体となった港まつりは、連日多くの来場者で賑わいをみせ盛会裡に終了しました。



▲盛り上がりを見せるワッショイはこだて

コヤン 高陽市との姉妹都市提携調印式

函館市・高陽市姉妹都市提携調印式が去る8月1日、工藤函館市長、崔高陽市長をはじめ、多くの関係者や市民が出席のもと函館国際ホテルにおいて開催されました。

調印式では、両市長が壇上に上がり、立会人として出席した松本会頭が見守るなか、姉妹都市提携に関する協定書に署名を行い、函館市と高陽市は正式に姉妹都市提携を結びました。その後は、記念品の交換や両市長が挨拶を行い、今後の両市が、経済や観光などあらゆる分野において連携と

協力を図り、互いに繁栄する事を誓い合いました。



▲姉妹都市提携を結び握手を交わす工藤函館市長(右)と崔高陽市長、立会人の松本会頭(右端)

第64回函館地区珠算競技大会

第64回函館地区珠算競技大会を去る7月10日、47名の選手が参加のもと本所会議室において開催しました。

本大会は、9月に帯広市で開催される全道大会の予選を兼ねており、参加選手がそれぞれ一般・高校の部、中学校の部、小学校5・6年生、小学校4年生以下の部に分かれ、個人競技、読上暗算、読上算の競技でそろばんの腕を競い合いました。

競技結果は、「そろばん函館一」に八木泰樹さん(株)エスイーシー、「そろばん中学生一」に齋藤淳之介君(道教大附属中学校)、「そろばん小学生一」に山本和輝君(函館市立柏野小学校)が決定しました。また、「小学生4年生以下の部」では山形風花さんが優勝しました。



▲大会に先立ち表彰された全国あんどんコンクール部門別優勝者

弘前商工会議所との懇談会

弘前商工会議所、みちのく銀行、本所で構成する、津軽海峡観光クラスター会議の第2回会合を去る7月14日、弘前商工会議所会議室において開催しました。

本会議は、観光資源に恵まれた函館と弘前が観光を核とした広域連携で経済交流を拡大し、地域全体の経済活性化を目指すもので、当日は、本所松本会頭のほか、両地域の正副会頭、観光コンベンション協会などから役員が出席のもと、みちのく銀行杉本頭取の進行により意見交換を行いました。

会議では、お互いの地域を知るための交流事業に着手し、地域イベントへの相互出店、共同での物産展開催や外国人観光客誘致のプロモーション活動に取り組んでいくための具体的なアイデアなどについて熱心な討議を行いました。



▲経済活性化にむけ意見を述べる松本会頭

海の日を祝う会

海の日を祝う会(会長:松本会頭)主催による「海の日」記念式典を去る7月19日、五島軒本店において開催しました。

当日は、海運業務や港湾の振興発展に尽力した30個人・団体に各表彰が贈られ、共栄運輸の佐藤昇さんには、長年機関長として海運の発展に貢献した功績が認められ、国土交通大臣表彰が伝達されました。

また、式典に先立ち、元町の船魂神社において、海上安全祈願祭が行われ、兵頭実行委員長ら35名が出席のもと海上と航海の安全を祈りました。



▲冒頭挨拶する松本会頭

第40回観光土産品試買検査会

第40回観光土産品試買検査会を去る7月22日、本所会議室において開催しました。

本検査会は、観光土産品の表示に関する公正競争規約の周知徹底ならびに土産品の品質向上を図ることを目的として毎年開催しており、当日は、函館駅前や五稜郭、大沼公園など市内および近郊の主要観光地で無作為に購入した農水産品30点、菓子20点に関し、「必要表示事項」や「過大包装の禁止」「不当表示の禁止」などの項目について15人の審査委員による厳正なる審査が行われました。

その結果、一部商品については、表示等に関する不備がみられたことから、今後これらの商品の製造元（販売者等）に対し、事務局より改善要望していくこととしています。



▲土産品の必要表示事項などを確認する審査委員

農水産部会と2委員会による 合同勉強会

農水産部会幹事会・水産海洋都市推進委員会・産学官連携促進委員会合同による、「函館国際水産・海洋都市構想」勉強会を去る7月29日、函館国際ホテルにおいて開催しました。

当日は、同構想の研究拠点として旧函館ドック跡地に建設が予定されている「国際水産・海洋総合研究センター」の概要を中心に、同構想推進の経緯と進捗状況についてを、藤田函館市国際水産・海洋都市推進室長より、また、同研究センターに期待される役割や研究内容等について、伏谷函館

国際水産・海洋都市推進機構長より講演をいただきました。

その後、質疑応答と意見交換が行われ、引き続き同構想ならびに同研究センターについて、積極的に協力していくことが確認されました。



▲国際水産・海洋総合研究センターについての説明を聞く参加者

議員会

毎年、函館市と青森市で交互に開催している青函商工会議所議員会交流会を去る7月8日、本年は当市において開催しました。

当日は、青森側から出戸端会長をはじめ7名、函館側からは福西副会長をはじめ12名が参加のもと、アンビックス函館ゴルフ倶楽部において、親睦ゴルフコンペで交流を深めたほか、この後、開催された懇親会には、加藤会長、佐藤副会頭も参加し、震災で冷え込んでいる経済情勢を打開するため、両市経済界の絆をさらに深めていくことを確認し、盛会のうちに終了しました。



▲交流を深めた青函商工会議所議員会のメンバー

議員異動のお知らせ

★職務を行う者の変更

◎1号議員（平成23年6月23日付）

（株）はこせき

（新）工 藤 将 幸 氏

（旧）佐 藤 忠 廣 氏

◎3号議員（平成23年6月30日付）

北海道電力（株）

（新）品 田 聡 氏

（旧）富 樫 泰 治 氏

青年部

函館港まつり協賛行事の「函館ペリーポート競漕」が去る7月31日、当青年部からは、YEGマリナーレディーズチームが女子の部に参加したほか、会員企業のチームが複数参加のもと、旧シーポートプラザ前の海上において開催されました。

天候にも恵まれ、一般の部35チーム、女子の部13チームが参加してスピードを競い合った結果、当青年部会員企業では（株）丸伊小林建設の「KOB A K E N. ザッパーズ」チームが一般の部で3位入賞しました。

また、当日は、恵庭商工会議所青年部のメンバーが来場し、函館チームと恵庭チームによるエキシビジョンマッチも行われ、会場を盛り上げました。



▲恵庭商工会議所青年部(左)と競ったエキシビジョンマッチ

女性会

毎年恒例の6月例会（植樹）を去る6月27日、元町公園において斎藤会長や市土木部の杉本勉部長

をはじめ、15名が参加のもと開催しました。

当日は、あいにくの小雨の降る天候で、傘を持ちながらの植樹ではありましたが、市民や観光客が集まり憩いの場となっている元町公園が、より綺麗な景観となるよう、3種類のツツジ10株を植え込みました。

例会終了後は、今後も植樹活動を続け、函館を緑あふれる街にしたいと確認し合い、また参加者全員にベコニアの鉢が配られ、盛会裡に終了しました。



▲植樹を行った女性会メンバー

今後のうごき

8月	
17	(水) 金融個別相談
18	(木) 青年部フルマラソン検討委員会
20	(土) ・第46回はこだて湯の川温泉いさり火まつり ・青年部会員親睦交流会
22	(月) 青年部コンベンション委員会
23	(火) 函館経営者協会「政経セミナー」
26	(金) 法律相談
28	(日) 第13回黒豚バーベキュー祭り
9月	
1	(木) 青年部9月例会
3	(土) はこだてエコフェスタ2011
7	(水) 第46回東北・北海道商工会議所連絡会議（酒田市）
13	(火) 保証協会個別相談
14	(水) 経営相談
【7月29日現在】	